

八幡平市商工会経営発達支援計画に係る事業評価（令和2年度実施事業）

<p>令和2年度実績 (1年目)</p> <p>—内部評価—</p>	<p>1. 経営発達支援事業の内容</p> <p>(1) 地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向分析として、国が提供するビッグデータ「RESAS」や岩手県等の統計調査情報等の公表 実績：ビッグデータ「RESAS」を収集・加工・提供し、コロナ禍での企業支援に活用（会員や行政に提供） 岩手県等の統計調査情報等2回公表</p> <p>(2) 経営状況の分析に関すること 事業者と経営指導員等が経営課題等を共通認識とするため、ローカルベンチマーク等を使用し経営状況分析を実施する。 実績：経営状況分析数 年74件（内創業者の分析2件）</p> <p>(3) 事業計画策定支援に関すること 事業者が限られた経営資源を有効に活用できるよう、「個別相談会」や巡回支援を実施し、経営状況分析や需要動向調査の結果を用いて、事業計画策定を支援する。実績：事業計画策定数 年47件</p> <p>(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画の進捗状況等により、事業計画策定30社のうち、フォローの回数は、10社は毎月1回、10社は四半期に一度、他の10社については年2回とする。 実績：フォローアップ対象事業者数40社、頻度（延回数）170回、売上増加事業者数年1社</p> <p>(5) 需要動向調査に関すること マーケットインの事業計画策定や販路開拓に役立つよう市場需要動向調査等で得た情報を提供する。 実績：食品対象事業者数年8社、工芸対象事業者数年3社</p> <p>(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 小規模事業者が多様化する顧客ニーズを的確に把握するために調査・分析・情報提供をすることで、小規模事業者の商品開発や新サービスの提供、新たな販路拡大、需要開拓、売上の増加・利益確保に繋げていく。 各種商談会や展示会等の機会を提供し、商材の発掘から商談、フォローアップまでの一貫した支援を行う。 実績： ① 八幡平市フェア展示販売会（1日）は新型コロナウイルス感染症の影響による中止 ② 八幡平市食と工芸の商談会（1日）出展者数11社、成約件数/社3.8件 新型コロナウイルス感染症の影響によるオンラインでの開催 ③ 当会運営「ハチクラWEB」を活用したインターネット販路開拓支援 出展者数18社、売上額2.1万円/社(年間)</p> <p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み</p> <p>(1) 地域経済の活性化に資する取組に関すること</p> <p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報 (2) 経営指導員等の資質向上等に関すること (3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p>
--	--

事業評価委員会

総 括

I 経営発達支援事業（伴走型支援）について

- ・新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、セミナー講師の招聘ができずオンラインでの開催に変更したり、集団指導会から個別相談を主体とした支援に切り替えるなどしたりして、経営分析と計画策定の支援、計画策定後のフォローアップなどに、一連の支援について、目標値を上回る取り組みが行われている。
- ・個別相談会のフォローアップなど、丁寧な支援を行うことで、会員加入5件となったことも特筆される取り組みと言える。
- ・新たな需要の開拓に関する取り組みについても、予定していた内容を変更し、近隣エリアを対象としたもの、オンラインを活用したものなどに重点を移して実施することで、それぞれの小規模事業者において、売上増や新規取引の成約実績につながっている点も注目すべき成果と言える。
- ・引き続き、それぞれの事業者の状況に応じた支援の継続、充実を期待したい。
- ・新たな需要の開拓に寄与する事業に関し、八幡平市フェアの展示・販売会は、新型コロナウイルスの感染拡大を避けることから実施を見送りし、計画している別の事業に注力したことは評価に値する。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、経営発達支援計画に記載している東京都中央区の銀河プラザのみに固持せず効果が上がる都市圏での開催や行い出展を新たな需要の開拓に広く寄与する事業に努めて頂きたい。

II 地域経済の活性化に資する取り組みについて

- ・八幡平市観光イベント実施に向けた協議、商店会イベントの実施、高校進路指導教員と地元企業との意見交換会、担い手育成事業は内容を変更して実施など、コロナ禍で、できる限りの取り組みが行われている。
- ・引き続き、状況に応じて、工夫した取り組みが行われることを期待したい。

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組みについて

- ・コロナ禍での制約がある中、他の支援機関との積極的な交流の実施、盛岡広域商工団体関連事業の会議出席による情報共有など、取り組みが行われた。
- ・専門スタッフの育成研修については、WEB研修を含む各種研修会への参加、OJTミーティングの実施、支援ノウハウのデータベース化による蓄積などに取り組みされている。
- ・自分から行動を起こさない会員事業所に対していかに支援するかが課題である。
- ・事業評価委員会については、年2回開催の計画となっていることから、計画的に実施されることを期待したい。

IV I～III全体としての評価

- ・新型コロナウイルス感染症対策で、かなり業務量が多くなった中、計画の達成にむけて職員が一体となって取り組まれたと思われ、数値で示された結果を超えた内容と推察される。
- ・活動に制限がある中で各種助成金への申請支援などの個者支援、地域経済の活性化に資する取り組みが出来たと思われる。

令和2年度（2期目1年目）経営発達支援計画の実施内容（内部評価シート）

実施者名	八幡平市商工会		
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5ヵ年）		
目標	<p>八幡平市は、自然景観・温泉・スキー場などの質の高さを誇る全国有数の観光地であるとともに地域特性を活かした農畜産物も豊かな地域であるが、急速に進展する少子高齢化や人口減少の進展等により小規模事業者の廃業が目立っているため、八幡平市商工会は</p> <p>目標1. 小規模事業者の経営力向上の取り組みに対する支援 目標2. 創業・起業及び円滑な事業承継による小規模事業者への支援。 目標3. 農水産品や観光資源、工芸などの地域資源の活用による地域経済の底上げを図る。 目標4. 他の支援機関及び地域団体との連携による仕組みづくりの構築 目標5. 小規模事業者の経営力向上に応える支援体制の構築</p>		
評価規準	評価基準は ・A → 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの ・B → 実施されたが効果（活用）があまり見られない、もしくは不明のもの ・C → 実施されたが、回数・件数が目標を下回っているもの ・D → 実施されなかったもしくは、実施されたがほとんど達成することができなかった	※数値目標に対する達成率が100%以上 ※数値目標を概ね達成（80%～99%） ※数値目標の半分程度（30%～79%） ※数値目標（30%未満）	
事業内容	令和2年度目標	令和2年度実施内容（実績）	評価記入欄
	1. 経営発達支援事業の内容 (1) 地域の経済動向調査に関すること 小規模事業者に対して的確な支援を行うため、地域の経済・消費動向等を把握し、そのための情報収集・分析、成果の提供等を行う。新たに、国・県の統計情報「RESAS」(地域経済分析システム)を収集し、小規模事業者が分かりやすいようデータを加工し、提供する。 事業内容 ① 国が提供するビッグデータの活用 商工会ホームページ 年1回公表 ② 岩手県等の統計調査情報等の活用 商工会ホームページ 年2回公表	(目標に対する実績) ① 収集・加工・提供による支援への活用 (商工会 HP 公表なし) ② 商工会 HP 年2回公表	評価 理由 新型コロナウイルス感染症が、2019年12月以降、中国武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がりました。日本では、令和2年4月7日、7都道府県において緊急事態宣言が発出され、4月17日には全国で発出され、現在でも影響を受けている状況です。 <u>このコロナ禍によって過去のRESASのビックデータを収集・加工・提供することより、コロナ禍で会員や行政が欲しい情報を調査し、集計・分析した上で提供した。市の経営支援の制度設計にも貢献した。個別の経営計画書の策定には指導員が外部環境分析などの指導の際に利用した。</u> ・会員向けコロナ影響調査 3月、5月、7月 ・商工会HPへのコロナ影響調査結果掲載 4月、9月 ・県連会報の配布 年4回) 県内小規模事業者景況調査結果の情報提供

	<p>(2) 経営状況の分析に関すること 事業計画の策定に結び付け、策定後の実施支援（フォローアップ）を適切に実施するため、事業者の財務状況、強み・弱みなど、当該事業者の状況をしっかりと把握する必要があるため、事業者本人が分析作成に加わり、分析シートの作成支援を行う。 持続化補助金等の計画書策定</p> <p>事業内容 ① 経営分析セミナーの開催 財務諸表の仕組みの基礎理解から基本的な分析ができるまでのスキル習得と経営戦略や経営方針の立て方を習得するために経営分析セミナーの開催。 目標：開催回数 2回 参加者数 60名（1回の開催に30名とする） 目標：分析件数 60件（内創業者の分析 3件）</p> <p>② 経営分析セミナー受講者に対する巡回、窓口相談による指導</p> <p>(3) 事業計画策定支援に関すること 事業計画書は、小規模事業者や創業者、事業継承者にむけて、前述の「経営状況分析シート」を基本に、「地域の経済動向調査」や「経営状況の分析」及び「需要動向調査」の結果を踏まえ、需要を見据えた事業計画の策定支援を行う。</p> <p>事業内容 ① 経営分析を行った小規模事業者や創業者、事業継承者を対象とした「個別相談会」の開催 目標：参加者数 30社</p>	<p>(目標に対する実績) 分析件数 74社 内創業者の分析 <u>2件</u> (持続化補助金)</p> <p>①オンライン経営分析セミナーの開催(専門家活用) ・集団1回目 10名 ・集団2回目 12名 ・個別指導 3社</p> <p>②オンライン経営分析セミナー後の参加者へのフォローアップ 件数 12社</p> <p>(目標に対する実績) 合計 47社(延べ) ・経営革新計画策定支援 2件 ・IT導入補助金 1件 ・持続化補助金 31事業所 ・県版持続化補助金 2事業所 ・伴走型事業 11件</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県外講師を八幡平に招聘できないことで、オンラインセミナーでのセミナーを実施しました。また、参加者においても、集団での受講を控えており、多くの受講者を集めることができなかったが、持続化補助金申請やマル経融資関連、伴走型事業により経営指導員が中心となって経営分析を行い支援しました。</p> <p>経営分析を行った小規模事業者や創業者、事業継承者を対象や経営革新計画策定や各補助金の支援や伴走型事業に係る事業者に対して個別相談会を巡回・窓口相談を行い 47件の実績となった。</p>
--	---	--	-------------------	---

	<p>② 「個別相談会」のフォローアップとして課題となった問題点を解決するため指導員等が巡回や窓口相談で対応する。</p> <p>(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画作成後の支援は、現状の必要に応じて支援するスタイルから小規模事業者の事業計画に基づいて経営改善を目指した支援に転換する。事業計画策定後実施支援にあたってはミラサポ、地域金融機関等と連携するとともに専門家派遣事業を活用し、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を行う。</p> <p>事業内容 目標： フォローアップ対象事業者社数 30社 頻度(延回数) 180回 売上増加事業者件数 15社</p>	<p>(その他 86件) ・マル経資金 17件 ・コロナ普通貸付 35件 ・県融資 1件、市融資 32件</p> <p>巡回・窓口相談指導(延回数) ・巡回指導 1,579回 ・窓口指導 2,187回</p> <p>(事業計画策定支援による相談指導回数) ・巡回指導 895回 ・窓口指導 907回 ・創業指導(延回数) 巡回指導 2回 窓口指導 5回</p> <p>フォローアップ対象事業者社数 40社 頻度(延回数) 170回 売上増加事業者件数 1社</p>	<p>A B C</p>	<p>また、金融相談では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所に対して、市の利子補給制度を利用した新規融資や借り換え融資を行った。数値は、情報提供や問合せを除いた支援した実数を計上している。</p> <p>経営支援後に会員加入 3件 創業支援後に会員加入 2件</p> <p>フォローアップ対象事業者件数は目標より増加したが、一社に対する頻度は目標では平均 6 回となるが、実績では 4.25 回と減少したが効果が上がる高い指導で人流を避ける行動ができた。売上増加については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け軒並み減少傾向であったことから、強靱な経営体質になるように支援する必要を感じました。</p>
--	--	---	------------------------	---

	<p>(5) 需要動向調査に関すること</p> <p>全国展開支援事業や伴走型支援推進事業で支援対象とした小規模事業者「マーケットイン」の観点から市場や購買者という買い手の立場に立って、買い手が必要とするものを提供することを念頭に、買い手のニーズ調査を含めた需要動向調査を行うことにより、4. 事業計画策定支援に関することや7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事に結びつける支援を行う。</p> <p>事業内容</p> <p>八幡平市を代表とする特産品の開発をするため、店舗において、買い手のニーズ調査を含めた需要動向調査を行うことにより事業計画の見直しや新たな需要開拓に繋がる事業となる。</p> <p>目標:①食品対象 事業者数14社 ②工芸対象 事業者数 6社</p>	<p>カイハウスビジネスフェアやWEB 販売の支援</p> <p>①食品対象 事業者数8社 ②工芸対象 事業者数3社</p> <p>(その他)</p> <p>①グルメスタンプラリーアンケート調査実施 食事52店舗 温泉 13 店舗 参加者延 337 人 (実施期間 8 月 1 日～1 月 31 日)</p> <p>・専門家等による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 13 件</p>	<p>B</p>	<p>伴走型事業 18 社のうち、11 社の需要動向調査はカイハウス事業を通じて行うことができた。特に生産者セミナー事業については、商品力、プレゼン力の格差により注文の差がつかれました。</p> <p>今後の支援としては、プレゼン能力のレベルアップが必要である。</p> <p>支援効果あり 新型コロナウイルスの影響により昨年度よりもスタンプラリーの参加者が少なかったものの、八幡平市民だけでなく滝沢市や盛岡市など近隣の市町村からも人を呼び込むことができました。また、新聞折り込みなどの広告やJAF会員優遇イベント「八幡平市スタンプラリー2020」を併催で行いPRを図り、八幡平市内を回遊することが図られました。</p> <p>支援効果あり 販路開拓支援や事業承継、経営革新計画等の支援</p>
--	---	--	----------	---

	令和2年度目標	令和2年度実施内容(実績)	評価記入欄	
	<p>(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>市との連携による首都圏イベント、近隣商工会連携による有名百貨店物産展への参加、展示会・商談会への参加を通して小規模事業者の販路開拓と八幡平のPRを行い、更に八幡平市の農水産品や観光資源、伝統工芸などの地域資源を活用した付加価値の高い地域特産品やサービスを提供することにより、八幡平市の産業を高め小規模事業者の所得や雇用の増加を図る。まずは既存商品のブラッシュアップや新規マーケットの開拓を行うため岩手県内外の各種商談会事業に出展や開催を行う。</p> <p>事業内容</p> <p>①八幡平市フェア展示・販売会出展事業の販路の拡大(BtoC) 支援件数 2社</p> <p>②八幡平の食と工芸の商談会開催事業などを活用した販路の拡大(BtoB) 支援件数 7社 成約件数 3件</p>	<p>(支援事業者)</p> <p>(株)麴屋もとみや、安比塗企業組合、(農事)わんだい高原農場、(有)安比まいたけ、(株)ふうせつ花、山本養蜂場、(有)羽沢製菓、Nollegretto、WILD GRAPE FARM、(株)地熱染色研究所、tamari 窯、Ludens Beautiful Hope、(有)清水川養鱒場、(株)ノースライン 40 プラス 8、4358 aging&anti-aging、(株)わしの尾、(企)八幡平地熱活用プロジェクト、平岡クラフト工房</p> <p>(実施内容)</p> <p>①八幡平市フェア展示・販売会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>②八幡平市商工会主催 ◎伴走型支援推進事業 カイハウスビジネスフェア(八幡平の食と工芸の商談会) 新たな需要の開拓に寄与する事業 カイハウス×八幡平市商工会展示販売会の開催 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、WEBを使ったプレゼンテーションやオンライン商談会事業を実施した。 ア. オンライン生産者プレゼンテーション事業 ・視聴者 45人 ・売上実績:販売実績 売上件数 31 件 売上金額 144,434 円 売上企業 11 業者 イ. 八幡平商品の活用レシピ提案事業 ・レシピ開発者 20人 レシピメニュー 20種類</p>	<p>評価</p> <p>—</p> <p>A</p>	<p>理由</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業(新たな需要の開拓に資する事業)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言による外出自粛の影響のため、東京でのイベントを中止</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業(新たな需要の開拓に資する事業) 支援事業所 11 事業所</p> <p>概ね達成</p> <p>概ね達成</p>

	<p>③ 当商工会運営「ハチクラWEB」を活用したインターネット販路開拓支援</p>	<p>・売上実績:販売実績 売上件数 9 件 売上金額 19,004 円 売上企業 8 業者 * オンライン生産者プレゼンテーションの際に購入した商品で対応したため提案者の購入金額は少ない。 ウ. 料理教室のタイアップによる八幡平商品の PR 事業(オンライン) ・視聴者 2,332 人(6 回合計) ・売上実績:販売実績 売上件数1 件 売上金額 648 円 売上企業 1 業者 * オンライン生産者プレゼンテーションの際に購入した商品で対応したため提案者の購入金額は少ない。 対面式の料理教室が開催できないため、生徒が直接購入する機会がなく売上は少ないが、視聴者の数から今後の注文に期待できる。 エ. 八幡平市食と工芸の交流会事業(オンライン) ・視聴者 38 人(ZOOM による事前予約数 56 名) ・売上実績:販売実績 売上件数 6 件 売上金額 51,958 円 売上企業 8 業者 * オンラインでの商談交流会であるため、対面販売と違い即購入に繋がらないため販売実績は少なかったが、八幡平の商品のオンラインショップについての周知が図られるとともに料理教室開催の際に簡単に購入できる仕組みを構築したことから、今後の活用・注文が期待できる。 発信力の高い料理研究者による SNS での商品紹介やレシピなどの情報が拡散されたことにより、販売単価が低いため売上額は大きくないが、商品購買に繋げることができた。 ③ 新たな需要の開拓に寄与する事業 「ハチクラ WEBSHOP」と SNS の情報発信、更新事業 事業者紹介公式サイト「ハチクラ WEB」の運用を行うことにより、商品やサービスの特性や製造方法及び事業者の理念・想い・人柄等にスポットをあてたデジタル情報の充実化と情報発信により、小規模事業者の新規需要の開拓と売上増を支援した。支援する 18 社の売上や問合せなどを増やすことができた。また、マスコミに取り上げられ、店舗等での販売に貢</p>	<p>B</p>	<p>概ね達成</p> <p>概ね達成</p> <p>事業者の商品をクローズアップし、ウェブを活用した通販と連動、需要開拓を支援 18 社</p>
--	--	--	----------	--

	<p>(事業の目標)</p> <p>①八幡平市フェア展示・販売会 支援件数2社、売上額／社5万円</p> <p>②八幡平の食と工芸の商談会 支援件数7社、成約件数／社3件</p> <p>③「ハチクラWEB」の販路開拓 支援件数20社、売上額／社5万円</p>	<p>献できた。ハチクラ WEB ショップを通じた実績 191 件、約 385 千円。</p> <p>ハチクラ WEB 等の情報発信によって卸業者から問い合わせが 33 件あり、成約が 2 件となった。マスコミの情報源にもなっていることから、HP、FB、インスタグラム、ユーチューブの SNS を使った継続的な情報発信による「ハチクラ WEB」の認知度向上により、他のブログやサイトで引用され、その結果、被リンクやサイテーションが増加し SEO 効果も期待できる。</p> <p>(目標に対する実績)</p> <p>①八幡平市フェア展示・販売会 支援件数 0 件、売上額／0 社</p> <p>②八幡平の食と工芸の商談会(オンライン) 支援件数 11 社、成約件数／社 3.8 件</p> <p>③「ハチクラWEB」の販路開拓 支援件数 18 件、売上／社 2.1 万円</p>	<p>—</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言による外出自粛の影響のため、東京でのイベントは事業変更申請をして中止した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響により、オンラインでの商談会となり、対面販売でないことから成約件数に伸び悩みがあった。</p> <p>支援企業が 2 社少ないのは、伴走型支援事業費においてヶ計画書に計上している。次年度は、2 社を増やし 20 社のサイトになる。今後は EC サイトへの誘導や購入を誘発する工夫が必要である。</p>
--	---	---	----------------------------	---

	令和2年度目標	令和2年度実施内容(実績)	評価記入欄	
	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み (1)地域経済の活性化に資する取組に関すること 行政等関係団体と連携した賑わいの創出や滞在人口増加のための観光イベントの実施や八幡平市内の商店街等と連携した市内外からの誘客促進を図るための商店街等イベントの実施、さらに地元企業への定着率増加を図るための人材育成事業(若手経営者・後継者、高校生、小・中学生)により地域経済の活性化の取り組みを支援する。</p> <p>①八幡平市観光イベント事業の実施に向けた連携(年3回) ②八幡平市内外からの誘客促進を図るための商店街等イベント事業の実施(年7回) ③地元企業に対する平館高等学校生就職体験(インターンシップ)の受入支援並びに岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会の開催(受入企業数年20社、年1回) ④八幡平市並びに八幡平市商工会青年部と連携した八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」の実施(年1回)</p> <p>⑤Iターン・Uターンによる市内定住・移住人口増加のための商店街空き店舗情報の提供を通じた活性化のための空き店舗対策連携会議の開催(年4回)</p>	<p>(実施内容)</p> <p>①八幡平市観光イベント実行委員会 1回 八幡平市観光イベント企画部会 6回 ②誘客促進商店街イベント事業 8回</p> <p>③平館高等学校生就職体験(インターンシップ)の受入は新型コロナの影響により中止 岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会 1回 22社</p> <p>④八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」は新型コロナの影響により中止 「平館高等学校と八幡平市商工会青年部との地元人材確保事業」2回</p> <p>⑤空き店舗対策連携会議 0回 新型コロナの影響により中止 安代地区の商店街の空き店舗を利用し、商店街の賑わいを果たせる事業 通年</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①八幡平市観光イベント事業の実施 3回 ・八幡平ふるさと花火まつり(8月15日) ・八幡平山賊まつり(10月10日～11日) ・八幡平・安比ゆきフェスティバル(2月13日～28日)</p>	<p>評価</p> <p>A</p>	<p>理由</p> <p>概ね達成</p>

		<p>②誘客促進商店街イベント事業の実施 8回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶらっと一日体験工房受入(4月1日～3月31日) ・あしろhana花フェスタ (6月1日～9月30日) ・グルメ&温泉スタンプラリー(8月1日～1月31日) ・イルミネーションの装飾(荒屋新町商店街)(12月4日～3月31日) ・イルミネーションの装飾(平館コミセン)(12月10日～3月25日) ・イルミネーションの装飾(大更商店街)(12月21日～2月28日) ・酒と肴の器百選百様2021(2月26日～28日) ・まちなかギャラリーの開設(3月20日～21日) <p>③平館高等学校生就職体験(インターンシップ)の受入は新型コロナウイルスの影響により中止 岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会 1回 22社(6月12日)</p> <p>④八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」は新型コロナウイルスの影響により中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平館高等学校と八幡平市商工会青年部との地元人材確保事業」2回 ・平館高等学校×八幡平市商工会青年部パネルディスカッション(7月29日) ・平館高等学校×八幡平市商工会青年部企業説明会「はちらく(“八幡平”で“楽しく”“はたらく”」(2月25日) <p>⑤空き店舗対策連携会議0回 新型コロナウイルスの影響により中止 但し、安代地区の商店街の空き店舗を利用し、商店街の賑わいを持たせる事業 通年 (4月1日～3月31日)</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>—</p>	<p>概ね達成</p> <p>インターンシップ事業はコロナにより中止となったが、意見交換会は回数達成</p> <p>子ども向け職業体験事業はコロナにより中止となったが、担い手育成事業を別の内容にて実施し地元企業の認知度向上が図られました。</p> <p>中止 新型コロナウイルスの影響により人流を抑えるため連携会議は実施しませんでした。空き店舗活用事業は実施しました。</p>
--	--	--	-------------------------------------	--

<p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1)他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 「経営指導員等研修」や「経営支援事例発表会」に経営指導員等が積極的に参加し、支援ノウハウ、支援の現状、支援課題についての情報交換を行い、商工業者並びに小規模事業者への具体的な支援課題に対応するための職員の支援能力の向上を図っていくとともに、八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議を新たに設けることで八幡平市内外の景況や支援課題等について相互間の情報の共有により、地域商工業発展のための支援能力の向上に取り組んでいく。</p> <p>①「八幡平市地域経済対策支援会議」の開催(年2回)</p> <p>②盛岡広域商工団体定期連絡会議への出席(年1回)</p> <p>③日本政策金融公庫盛岡支店「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」への出席(年2回)</p> <p>④八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議の開催(年1回)</p> <p>(2)経営指導員等の資質向上等に関すること 経営指導員、経営支援員の小規模事業者の事業計画策定、生産性向上や事業承継など小規模事業者の実態に応じた伴走型支援スキル向上のため、岩手県商工会連合会や中小企業大学校が実施する研修への参加や専門家派遣に同行し、分析手法や支援の進め方、指導・助言等のノウハウ、スキルの習得を図るとともに、広域経営指導員とチームを組成し、OJTの実施、定期的な職員ミーティングにより、情報及び経営支援ノウハウの共有を図り、組織的な支援能力の底上げを図る。</p>	<p>○目標に対する実績</p> <p>①「八幡平市地域経済対策支援会議」の開催(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡平市との懇談会(10月28日) ・八幡平市議会との懇談会(11月25日) <p>②盛岡広域商工団体定期連絡会議への出席 盛岡広域振興局、盛岡商工会議所での各種会議に出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡・八幡平元気まるごと発信事業実行委員会(4月30日) ・盛岡広域商工団体復興応援観光・物産フェア実行委員会(8月6日、3月8日) <p>③日本政策金融公庫盛岡支店「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」への出席(年1回)書面開催</p> <p>④八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議の開催(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡平市金融機関との金融連絡会議(4月8日、7月13日) <p>○目標に対する実績</p> <p>①専門スタッフ育成研修への参加及び資質向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県連主催研修会への参加 延べ 25人(14回) ・中小機構等研修への参加 なし ・東北経済産業局等主催講習会への参加延べ3人(2回) <p>②OJT、職員間の情報共有による伴走型支援力の向上と定期ミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域経営指導員による指導、打合せ(13回) ・定期ミーティング及び職場内OJT実施(5回) ・いわてビジネスイノベーションアワード 5人(2月5日) <p>③支援ノウハウのデータベース化 経営支援基幹システムBIZミルデータ入力及び活用</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>概ね達成 他の支援機関との積極的な交流実施(全国・県内商工会等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、盛岡広域商工団体定期連絡会議は開催されませんでした。盛岡広域商工団体関連事業の会議に出席し、情報共有を図りました。</p> <p>職員の資質向上のための研修会に積極的に参加するとともに、事務所内でのOJT、ミーティングを行い、支援体制の強化を図りました。</p>
--	---	-------------------	--

	<p>また、個社支援に係る分析結果や支援経過、結果等の情報、事業者ごとの指導内容や事業者情報について商工会基幹システム(事業所基本情報・指導記録管理)を活用し、一元的な管理を行う。</p> <p>①専門スタッフ育成研修への参加及び資質向上の取り組み</p> <p>②OJT、職員間の情報共有による伴走型支援力の向上と定期ミーティングの開催</p> <p>③支援ノウハウのデータベース化</p> <p>(3)事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>①事業評価委員会を設置し、会議を開催する。外部有識者を招聘し、年2回(年度当初と年度末)開催し、事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。</p> <p>②常設委員会(事業企画委員会)において、評価・見直しの方針を決定する。</p> <p>③評価・見直しの結果については、理事会へ報告し、承認を受ける。</p> <p>④評価・見直しの結果を八幡平市商工会のホームページ(http://www.shokokai.com/hachimantai/)で計画期間中公表する。</p> <p>⑤事業単位(セミナー、研修会、計画策定支援、計画実施支援、需要開拓に向けた展示会、商談会等支援)で対象企業からの「満足度調査」(アンケート)を実施し、効果、感想、要望、満足度等を把握し、商工会の事業単位でPDCAサイクルを回して事業の見直しに役立てる。</p>	<p>(実施内容)</p> <p>①事業評価委員会の開催(1回 6月8日)</p> <p>②事業評価結果の公表</p> <p>③理事会(7月17日)</p> <p>④商工会 HP への掲載(6月23日)</p> <p>⑤セミナーでのアンケート調査</p>	<p>B</p>	<p>概ね達成 評価委員会などで評価、提言を頂きましたが、事業実施後の「満足度調査」(アンケート)結果について、効果の検証に至りませんでした。</p>
--	--	---	----------	---